

# 医療現場DX化による人員配置や業務管理の効率化

市町・自治体・団体



兵庫県立はりま姫路総合医療センター

課題解決事業者



株式会社クオトミー

## 取り組んだ課題



手術予定に対して担当看護師を配置する業務にリーダークラスの看護師が半日拘束される。またリーダークラス看護師個々の采配に左右され、業務効率の低下や人材育成の非効率化が課題。

## 解決してない理由は？



日々変動する手術予定に対し、手術看護師の経験・スキルとのマッチングや個々の教育スケジュールを加味しないとイケない複雑さ。さらに、それぞれが紙などアナログで管理されている。

## 求める解決策

病院の保有する看護師個々の経験・スキルと教育スケジュールをデータ化。  
それをもとに手術予定に対する手術室看護師の担当配置業務を自動化。  
また完成した担当配置表はクラウドで共有する。



Quotomy

## 実証概要

## 手術室看護師の担当・配置業務をDX 「OR Bridge」プロジェクト～経験をつなぐ、オペ室へ～

## 目的

日々変動する手術予定に対する  
経験・スキル、教育スケジュールなどを加味した  
複雑な担当・配置業務を自動化し、  
業務の効率化と人材育成を推進する

## ターゲット

病院手術室において  
本業務をおこなうリーダークラスの看護師  
また、決定した担当配置表を受け取る看護師

## 事業者のアセット

システム開発

## 市町のアセット

手術室看護師の経験・スキルシート  
教育スケジュール  
患者情報を削除した過去の手術予定表



## 実証②

## 担当・配置業務が楽になりそうか

兵庫県立はりま姫路総合医療センター手術室

全画面表示

テストユーザー  
ログイン中

ソース

- 1年目器械出し進行予定
- 個人別教育予定
- 個人別研修術式マップ

ソースの追加

&lt; 2026年1月21日 (水) &gt; 勤務メンバー 13名

36.中村 遼音 (3年目) 37.山下 (3年目) 12.松田 夜勤 (6年目) 14.金子 遼音 (6年目) 22.石田 夜勤 (6年目) 25.工藤 遼音 (6年目) 27.太田 (6年目) 02.石井 (6年目) 03.竹内 (6年目) 49.吉田 (6年目) 58.小島 (6年目) 05.山崎 夜勤 (6年目) 09.高橋 遼音 (6年目)

人員を配置する

リセット

確定

アサイン済みメンバー

統括リーダー: 15.小野 (6年目)

リーダー: 57.坂本 (6年目)

器械担当: 07.小林 (6年目)

4号室

器械出し

外回り

入室

09:00~

ICD交換術 詳細

麻酔:

研修学生

21.斎藤 (6年目)

i

Oncall

CRT-D交換 詳細

麻酔:

研修学生

23.後藤 (6年目)

i

Oncall

リードレスペースメーカー avier 詳細

麻酔:

24.山本 (6年目)

i

5号室

器械出し

外回り

入室

## 実証②

## 担当・配置業務が楽になりそうか

兵庫県立はりま姫路総合医療センター手術室

全画面表示    テストユーザー  
ログイン中

ソース

1年目器械出し進行予定  
個人別教育予定  
個人別研修術式マップ

ソースの追加

< 2026年1月21日 (水) >    勤務メンバー 16名

45.岡田 (2年目)   36.中村 運営 (3年目)   12.松田 夜勤 (6年目)   14.金子 運営 (6年目)   17.上田 (6年目)   20.木村 (6年目)   22.石田 夜勤 (6年目)   25.工藤 運営 (6年目)   27.太田 (6年目)   02.石井 (6年目)   03.竹内 (6年目)   43.永井 (6年目)   49.吉田 (6年目)

58.小島 (6年目)   05.山崎 夜勤 (6年目)   09.高橋 運営 (6年目)

✓ 配置しました

リセット    確定

5号室	器械出し	外回り	入室
09:30- 観血的骨接合術(その他) → 腸骨移植術 <small>詳細</small> 麻酔:	60.林 (1年目)	32.田中 (4年目)	
Oncall 観血的骨接合術(その他) <small>詳細</small> パリアックス、クラビクル 麻酔:	55.阿部 (1年目)	32.田中 (4年目)	
6号室	器械出し	外回り	入室
09:30- 病巣掻爬+骨髄点滴、観血的骨接合術(Synthesプレートセット) <small>詳細</small> LCPメタフィアル 麻酔:	59.佐々木 (1年目)	30.勝井 (5年目)	
Oncall 抜釘術 (上腕) <small>詳細</small> LCP-DHP 麻酔:	56.鈴木 (1年目)	30.勝井 (5年目)	
7号室	器械出し	外回り	入室

定性  
結果

## 作成者の課題感

「経験術式を別シートから確認しないといけない」

「参考資料が多量」

「作業に時間を要する、担当者変更が大変」

「経験、目標、優先度、、、時間がかかる」

「対応できるか経験表との照らし合わせが大変」

「できる/できないの症例とオリエンテーションが大変」

定性  
結果

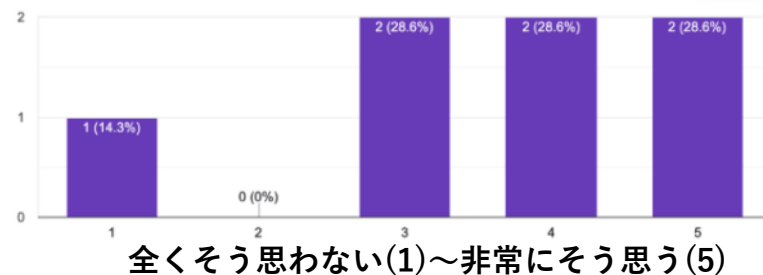
## 勤務予定者の課題感

「予定表を確認するために病院に立ち寄る」

「習得すべき術式の進捗度」

定量  
結果

業務時間短縮見込み 35%

【作成者】  
35%改善見込み【勤務予定者】  
37%改善見込み【利用意向】  
「非常にそう思う」「そう思う」が過半数定性  
結果

「表記の揺れ」と「役割分担」

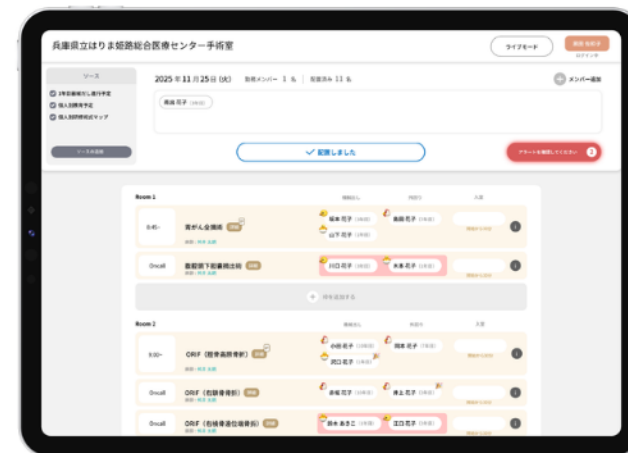
【術式と評価表の差】  
術式が細かなく、有用性がない  
複合術式の選択ができればよい【匿名での実証】  
割り振りの実感がない  
役割分担が適正であるか判断がつきにくい

## 総括

手術室看護師の担当・配置業務自動化システムを構築。  
手術室看護師による運用確認。



手術室	担当	配置	備考
101	山田	田中	
102	佐藤	鈴木	
103	高橋	渡辺	
104	中村	山本	
105	小林	松本	
106	藤田	佐々木	
107	山崎	高木	
108	石川	山口	
109	水野	清水	
110	山手	山崎	



## 期待される効果

手術室看護師業務の効率化  
 ➤手術運営の効率化  
 安心・経験・成長をつなぐ配置  
 ➤人材育成の推進

## 改善点

術式とスキル評価表の表記ゆれ  
 実際の医療情報や勤務者名を  
 入れての実証

## 今年度の結果



- ・ 手術室現場のヒアリング・課題特定
- ・ α版のシステム構築
- ・ 看護師さまからフィードバック

次のアクション  
(2026年度)

## 実証継続

- ・ フィードバックを反映したシステム構築
- ・ 定量的な改善点をPR
- ・ ほか医療機関への提案（展示会など）

## ゴールイメージ



## 横展開予定

- ・ 手術室現場の他の課題へもシステムを展開
- ・ 兵庫県や他都道府県への導入促進

本実証で取り組んだ「手術室看護師の担当・配置業務DX」は、非常に複雑かつ手術室運営に影響のある大きな課題であると多くの手術室看護師・管理者が日々悩んでいると思います。

「はり姫」からの取り組みを、兵庫県全体、そして日本全体に広げ、本来取り組むべき医療業務に医療者が集中できるよう尽力します!!

こんな人と話したい

- ・ 病院関係者（自治体、病院経営層、医療従事者）
- ・ 代理店

和歌山  
はりま医療  
総合医療センター

医療現場の困りごとを解決し  
医療者のポテンシャルを最大化することにより  
地域住民に持続可能な医療を提供します